

平成28年度の主な事業

どんなことにお金を使うのかを紹介します。



子育て支援・教育施策

◆ 病児保育の開始 735万円

今年4月に運営を開始した「病児保育すこやか」が実施する病児保育に補助を行います。



病児保育すこやか

◆ 放課後児童クラブの充実 6,145万円

鶴瀬第2・3、水谷第2・3、勝瀬第2放課後児童クラブの開設などに伴い指定管理料を増額します。



放課後児童クラブのようす



4月に開園した慶櫻ふじみ保育園



AETの授業風景

◆ 養育支援訪問事業の実施 46万円

産まれて間もない子を持つ家庭に保健師が訪問して相談や情報提供を行い、必要に応じてホームヘルパーを派遣します。

◆ 子どもの貧困対策の推進 570万円

貧困家庭などの実態調査などを行い、支援体制の整備計画を策定し、関係機関との協力体制を構築するコーディネーターを配置します。

◆ イングリッシュ・サマー・キャンプの開催 46万円

小学生を対象に、市のAET(外国語指導助手)が講師となり、ゲームや調理などを通じて楽しみながら英語のコミュニケーション能力の向上を図ります。

◆ 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金制度の創設 30万円

ひとり親家庭の親や子どもの学び直しの支援を行うことを目的とした「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」を支給します。

消費税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の使いみちについて

平成26年4月からの消費税率引き上げに伴い、市には地方消費税交付金が7億5,000万円増額されるため、以下の社会保障施策経費に使わせていただきます。

- 社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など) 4億1,637万円
- 社会保険関係(国民健康保険、介護保険など) 2億8,760万円
- 保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など) 4,603万円



魅力と賑わいのある 誰もが安心して暮らすことができるまちづくり

～平成28年度当初予算概要～

問合せ/財政課 ☎233

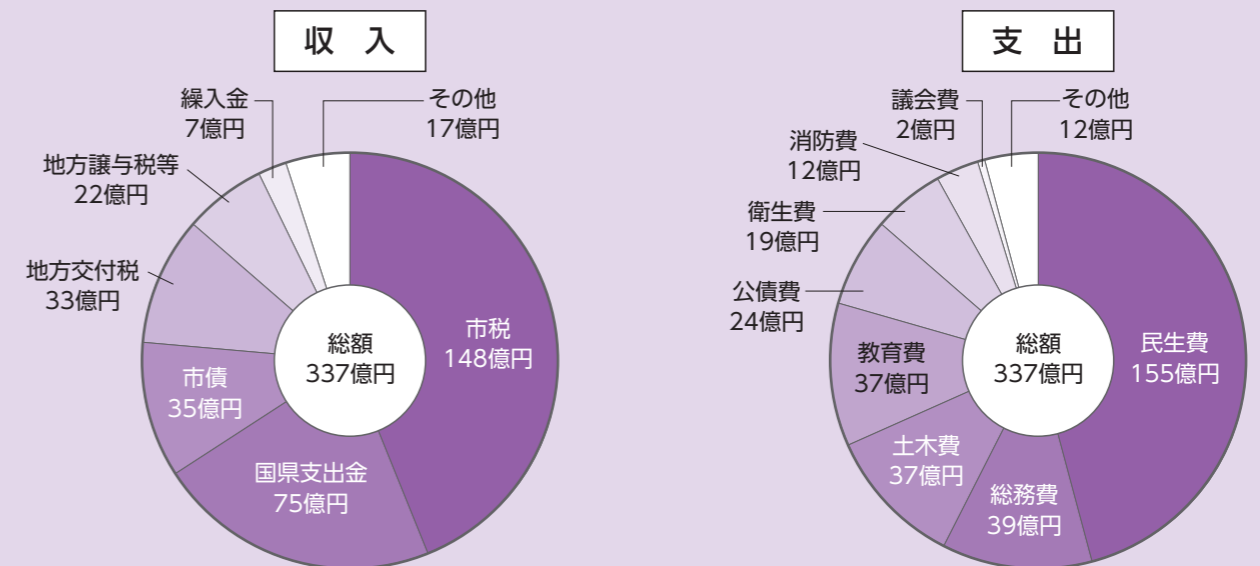
平成28年度当初予算は、これまで進めてきた子育て支援策や都市基盤整備などの施策について、引き続き積極的に取り組むとともに、本市の地域特性や潜在力を最大限に活かす施策を予算化し、「魅力と賑わいのある誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」を目指した予算を編成しました。

市の予算には目的ごとに大きく分けて3つのお財布(会計)があります。平成28年度のすべての会計の予算総額は、市民サービスのさらなる向上を目指し、積極型の予算を編成した結果、前年度比4億円増の610億円となり、過去最大の予算規模となっています。

一般会計 337億円	特別会計 209億円	企業会計 64億円
市の基本的な費用を計上している会計 (社会保障費や道路整備、学校整備など)	特定の事業を行うための会計 (国民健康保険や介護保険など)	料金収入で運営する会計 (水道会計と下水道会計)

※金額は、1億円未満四捨五入 予算総額は、各会計の単純合計

一般会計予算の概要



市民1人当たりの負担

■ 市民1人当たりの市税の負担

134,700円/年 (前年度比 5,600円増)	
・個人市民税	61,000円
・固定資産税	50,600円
・都市計画税	9,300円
・その他の税	13,800円

■ 市民1人当たりのサービスにかかる費用

306,800円/年 (前年度比 9,600円増)			
福祉の充実	環境・衛生の向上	消防・救急業務	教育の振興
141,100円	17,600円	10,900円	33,400円
道路・公園等の整備	産業の振興	借入金の返済	その他(議会費・総務費等)
33,500円	1,800円	21,400円	47,100円

※金額は、1億円未満四捨五入前の予算額を平成28年2月末日現在の人口(109,938人)で除して求めたものです



安心安全・健康施策など

◆ 市民活動保険の加入 322万円

町会や地域団体等のボランティア活動における怪我等に備え、市が賠償責任保険・傷害保険に加入します。



町会美化活動

◆ 木染橋の耐震補強工事の実施 7,760万円

計画的に市内橋梁の耐震補強工事を実施します。

◆ 老朽化した道路標識等の更新 2,620万円

老朽化した道路標識、反射鏡や照明灯の更新を行います。

◆ 水越ポンプ場の整備 1億2,500万円

浸水対策の観点から、水越ポンプ場のゲートポンプの設置工事を行います。

◆ 防災行政無線のデジタル化の推進 1億7,808万円

市民へ防災情報などを伝達する防災行政無線のデジタル化を推進します。

◆ 3歳児健康診査での乳歯へのフッ化物塗布の実施 111万円



乳歯がほぼ生えそろった3歳児の健康診査の際に、フッ化物塗布やブラッシング指導を行います。

ブラッシング指導

◆ 食育の推進 100万円

ピアザ☆ふじみ内の食育推進室を活用して、女子栄養大学や市内飲食店などと連携・協力のもと、各種食育推進事業を実施します。



食育推進室

◆ 富士見ガーデンビーチの改修 6,963万円

老朽化した施設の改修やウォータースライダーの修繕を行います。

◆ 市民総合体育館の復旧およびリニューアル 16億8,350万円

市民総合体育館メインアリーナ棟の復旧工事およびサブアリーナ棟の大規模改修工事を実施します。



快適で活気あるまちづくり施策

◆ みずほ台駅西口へのエレベーターの設置等 5,433万円

みずほ台駅西口にエレベーターを設置します。また、みずほ台駅ホームに内方線付き点状ブロックを整備します。



みずほ台駅西口

◆ あいサポート運動の推進 157万円

障がい者への理解を促進するため、あいサポーターの養成講座などを実施します。



あいサポーター研修

◆ 唐沢公園のアスレチック遊具の更新 1,200万円

唐沢公園の老朽化したアスレチック遊具の更新を行います。

◆ 鶴瀬駅西口土地区画整理地内第2公園の整備 4,550万円

市民協働により公園の設計を進めてきた鶴瀬駅西口土地区画整理地内の第2公園の整備を行います。

◆ 新たなまちづくりに向けた調査・検討 1,150万円

「シティズーン」「水谷柳瀬川地区」「水子地区」などにおいて、立地条件や地域特性を活かした計画的な土地利用を行うための調査・検討を行います。

◆ 親子ふれあい農業体験の開催 24万円

農業や地元農産物への興味・関心を持ってもらうため、市内農業者などの協力のもと、親子を対象に野菜などの収穫体験イベントを実施します。



じゃがいも掘り

◆ 富士見市PR大使の委嘱 89万円

富士見市にゆかりのある著名人の方々にPR大使をお願いし、さまざまな機会を通じて当市の魅力を幅広く発信していただきます。

将来の財政見通し

歳入の骨格をなす市税は、「ららぽーと富士見」に係る固定資産税や法人市民税が増加する一方、固定資産税の評価替えによる減少などによりほぼ横ばいで推移しますが、歳出は、少子高齢化の進展による扶助費の伸びなどにより、今後も厳しい財政状況が続く見込みです。

市では引き続き、魅力的なまちづくりの推進による安定的な税収基盤の整備などにより、財政健全化を進めながら、市民サービスの維持向上を図っていきます。

中期財政計画(普通会計ベース)

(単位: 億円)

区分	29年度	30年度	31年度	32年度
歳入歳出合計	326	325	315	320
主な歳入				
市税	146	144	144	145
地方交付税	31	30	30	30
国県支出金	73	71	70	70
繰入金	6	10	8	12
主な歳出				
人件費	48	47	46	46
扶助費	94	97	99	101
公債費	27	29	30	31
投資的経費	34	33	20	20

予算の詳しい内容は、市ホームページの「ことしのお金の使いみち」を見てね。

